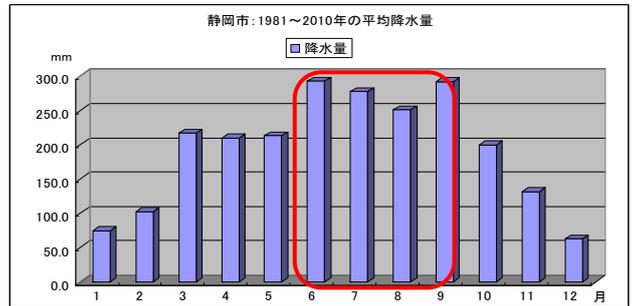


中部防災ニュース 令和元年6月号

発行
静岡県中部地域局
 電話 (054) 644-9104
 メール chubu-kiki@pref.shizuoka.lg.jp

豪雨災害に備える

平成30年7月西日本豪雨や、平成29年7月九州北部豪雨など、水害や土砂災害による甚大な被害が発生しています。特に6月から9月は、前線の活動や台風などにより降水量が増加するので、河川の増水や土砂崩れなどへの警戒が必要です。



※静岡気象台ホームページのデータから作成

水害から身を守るためには、「**自らの命は自ら守る**」行動が大切です。災害が予想される時には、**早めに防災情報を確認する**などし、**自らの判断で早めの避難行動**を取りましょう。



避難に役立つ情報があります！

スマホで手軽に防災情報をキャッチ！

～総合防災アプリ「静岡県防災」の運用を開始～

- ・緊急防災情報をいつでも確認！
- ・津波からの避難トレーニング！
- ・現在地の危険度がわかる！
- ・ARにより浸水状況をビジュアルで確認
- ・地域の危険性や避難先を把握！
- ・防災知識を学んでテストで確認！



防災に役立つ情報が盛りだくさん！ **今すぐダウンロード！**



静岡県防災

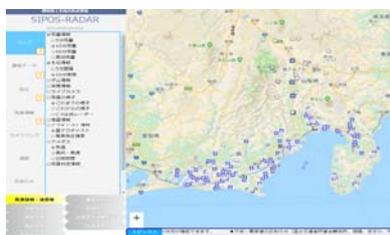
ダウンロードは静岡県
ホームページから→



静岡県土木総合防災情報

SIPOS-RADAR

静岡県内の河川の水位、雨量、防災、気象情報を知りたい時、『サイポスレーダー』で最新の情報を入手できます。



サイポスレーダー

検索

気象庁ホームページ

土砂災害、浸水害、洪水の危険度分布表示

例えば洪水警報が発表された際は、危険度分布により洪水発生危険度の高まりの予測が地図に示され、どこが今危険なのかを視覚的に確認することができます。



洪水警報の危険度分布



気象庁 危険度分布

検索



6月は土砂災害防止月間です

毎年、全国で土砂災害の被害が発生しています。土砂災害は一瞬にして、命や財産を奪っていきます。土砂災害は、崩れ方によって避難の行動が異なります。日頃から危険な場所を確認しておくことで、いざという時に早目で安全な避難ができます。



土石流

山腹や川底の土砂が雨により一気に押し流される現象。



地すべり

斜面が地下水により、ゆっくりり下方へ移動する現象。



がけ崩れ

斜面がゆるんで、突然崩れ落ちる現象。

これが出たら本当に危ない！！

- ・地鳴りがする
- ・地面にひび割れができる
- ・斜面から水が噴き出す
- ・においが変わる
- ・木が裂ける音や石がぶつかる音がある

これらの現象が現れる場合は、すでに危険が迫っています。直ちに安全な場所に避難しましょう。

自宅や職場周辺の危険箇所を知るには？



各市町のハザードマップ
静岡県地理情報システム(GIS)

を活用しましょう！

静岡県 GIS

検索



ブロック塀は大丈夫？

昨年発生した大阪府北部の地震では、倒壊したブロック塀の下敷きになり、尊い命が奪われました。一見、丈夫そうに見えるブロック塀も、地震の揺れで倒壊する恐れがあります。職場や自宅の危険なブロック塀を無くすよう、まずは自己点検を行いましょう！



自己点検表

ブロック塀の安全性の確保は所有者の責任です。



点検箇所	OK	NG
① 塀の高さは、地盤から2m以下か。		
② 長さ40cm以上の控え壁が、3. 2m以下ごとに設置されているか。		
③ 塀に傾き、ひび割れがないか。		

1つでもNGの項目があれば
造り替えor改善が必要です！

※この他にも基礎の根入れや鉄筋の状態など、自己点検が難しい項目もありますので、お住まいの市町の建築・防災担当へ相談してください。

ブロック塀の点検と改善



静岡県

詳しく知りたい方は、こちらをご覧ください！

静岡県 ブロック塀の点検

検索

危険なブロック塀の撤去・改善に対する補助制度をご活用ください！

危険なブロック塀を撤去する方や、安全なブロック塀に改善したり、生垣に造り替えたりする方に対して補助制度があります。各市町によって、対象や限度額が異なりますので、お住まいの市町へお問い合わせください。

「中部防災ニュース」は次号から「中部防災だより」としてリニューアルし、季刊で発行します。

第1号は、「秋号」として8月発行です。ご期待ください！